

森の通信



34

Hutan

1994年12月20日発行



A young Penan squats in the quiet of the jungle floor.

ウータン・森と生活を考える会

〒530 大阪市北区中崎西1-6-36 サクラビル新館308号「関西市民連合」事務所(付)
phone 06-372-1561

【一部】300円

【年会費】3000円

【郵便振替】00930-4-3880

PRINTED ON RECYCLED PAPER

On The Way 熱帯林!

佐藤 正行

ちよつと目を外に向けるだけで、様々なことを考えている人達に出会うことができることが分かった。そのことを知ってから、早3ヶ月が経とうとしている。ウータンには、3回ほど顔を合せた。

そんな中で、自分が考えていかなければならない何かが解ってきたように思う。

『自然保護』と叫ばれているが、ぼくは、そのような気は、あまりない。『自然は美しい』という気持ちをもいつまでも大事にできれば、と強く感じるようになってきた。

最近、勤務先で、不用紙の回収箱を作り、コピー機のそばに置くようにした。それは、不用紙の裏面利用をしておおうと思っただからで、誰にもその考えは伝えていなかった。でも一部の人を除いてその考えを理解してくれていた。中には、否定的な人もいたが、それはその人の考えだろうと思っただけでも悲しかった。

何かを考えてやってみたいなら、小さなことでもいい、うまくいかななくてもいい、方向が間違っていてもいい、時には背伸びをしてもいい、取り合えず、行動を起こさなければと、やつと気付いた。

【ウータン活動報告】

- 8. ウータン 吹田市と話し合い。
- 9. ウータン 堺市・高槻市と話し合い。
- 10. ウータン 豊中市と話し合い。
- 11. ODA調査研究会主催の「メコン開発を問う」集會に協力。
- 12. 第4回熱帯材全国會議に参加。金沢市において。
- 13. 第4回熱帯材削減検討會議準備會。
- 14. サラワク・キャンペーン委員会主催の「侵されるサラワク熱帯林の先住民族と日本の責任」集會等に参加。
- 15. ウータン 門真、守口市と話し合い。
- 16. 出前講座「熱帯林破壊と日本」アジア協会で。
- 17. ワン・ワールド・フェスティバルに参加。
- 18. 第5回熱帯材削減検討會議。
- 19. 熱帯林連続講座 Part 2。
- 20. 「バプア ニューギニア」編ゲストのベノさんを迎え、南港貯木場も見学。



森の通信

HUTAN 34号 目次

CONTENTS

- ♪自治体キャンペーン報告
 - ウータン・西岡 3
 - ♪紙・非木材紙をもっと使おう
 - ウータン・永田 6
 - ♪HUTAN・NEWS
 - ウータン・ユース 8
 - ♪連載「熱帯林を考える」7
 - 猪俣栄 9
- ♪ボードinサラワク
 - 「ロングハウスの子どもたち」
 - 関西セミナーハウス・荒川共生 16
 - ♪ウータンに届いたメッセージ
 - 95年度の會費更新のお願い 18
 - ♪ウータン・アートギャラリー
 - byカロリン・ポー・チン・イン 19

巻末のウータン・スケジュールもチェック!! どんどん参加を。(会費の分だけモトを取りましょう?)

シリアルペーパー 紅茶(平和紙業)

FROM OSAKA

熱帯木材不使用へむけて

FROM OSAKA

自治体キャンペーン経過報告

15

堺、吹田、豊中、守口市が熱帯材削減へ本格化！

事務局長 西岡良夫

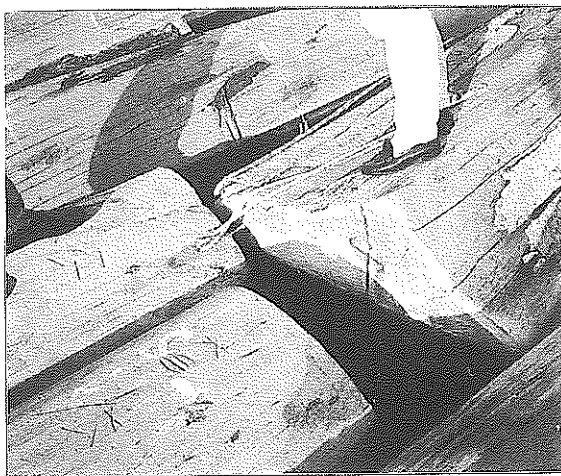
大阪府下では、四五自治体のうち二二自治体で熱帯木材使用削減の取組みがされ、「削減検討中」という自治体もあり、今後、熱帯林保護の取組みが拡がると思います。中でも大阪府、豊中、吹田市では設計の段階から「代替材使用」と書かれた「特記仕様書」で削減がされています。モデル事業や意見書採択だけでは本格的な使用削減になりません。ウータンでは、九四年の夏から秋に六自治体と話し合いを行った結果、そこでは建築課だけでなく他の課でも取組みがされ始めていました。今後は内装材や下地材の代替も必要です。題して《第二段階に入った熱帯木材使用削減！》

〔吹田：建築課等で削減の基本方針〕
家具の再利用も一部で行い、「ごみ」行政でも知られている吹田市。八月三日、私達と建築課と話し合いです。

吹田市は、一九九三年に『基本方針』を建設部、生活環境部、都市整備部、下水道部でまとめ、(一)コンパネ型枠工事を複合板にする、(二)合板以外の型枠使用で熱帯材使用削減、(三)業界に使用抑制を呼びかけ、使用しない工法の推進をはかる、(四)生産業者にも代替品の生産を呼び掛ける、(五)その他に、内装のラワン材使用抑制・捨て型枠の代替化などの方針です。

また「特記仕様書」にはPC工法や複合合板を指定しています。吹田市全体が熱帯材削減の方向へ進んでいます。八月の話し合いでは「木製使用合板約一〇万㎡のうち四割が複合合板で、残りは塗装合板です。削減目標は七五%と言いたいが、六五%に近づけたら」と言う葛野建築課課長代理。

吹田市は、『基本計画』策定前からほとんどが塗装合板だったとのことで、「PC工法、複合合板、金属型枠使用などでいかに熱帯材を減らせるか、が問われると思う」とのことでした。今後の吹田市に期待したいものです。



大径木の熱帯材が、日本に大量に輸入され続けている。94年11月19日、南港貯木場見学会にて。

〔堺市：支所等市全体へ熱帯材削減〕

九月二日、堺市と高槻市と話し合い。

堺市は坂本建築課長代理、高瀬土木部長、庁舎整備室の松下副理事など。

堺市では、道路整備事業がほとんど終わり、熱帯材使用はごく少量との事。

「土木部の使用量は約二千㎡で、ほとんどPC工法です。熱帯材も今後針葉樹合板へ代替も可能」と土木部次長。

松下副理事は「二庁舎建設は熱帯材削減を考えてます。西支所は全型枠使用量が約六四千㎡で、熱帯材が八千㎡、四三五〇㎡が複合合板、一二五〇〇㎡が金属型枠です。また南支所の型枠全使用量は三万㎡、複合合板が一七千㎡、熱帯材が一三千㎡です。合計七八%の削減です。今年の東支所建設発注でも使用削減の予定です」と答えてくれた。

建築課は、「削減目標の設定はまだだが、今のモデル事業から市全体の事業に削減する方向です。九三年完成の教育文化センターが約一千万㎡の型枠を三〇%削減したし、旭ヶ丘市営住宅一六四〇〇㎡のうち五七%削減しまし

「熱帯木材の使用削減をされた今後の取組みの要望」(質問)

吹田市長 岸田恒夫 様

(前文略)今以上の熱帯木材使用削減が求められる折、今後、貴自治体の具体的な熱帯林保護及び熱帯木材使用削減策をお伺いしたいと思います。8月29～31日頃に、私達と下記の点について、お話し合いをしていただければ幸いです。

記

1. 貴自治体は、特記仕様書及び「基本方針」によって、今後工事をなされると伺っていますが、特記仕様書による熱帯木材使用削減の効果はどのようなものですか。
2. 貴自治体の熱帯木材使用削減施策についてですが、削減目標(率)と削減目標年度をお決めでしょうか。94年度以降の使用予定量と、熱帯材の削減予定量をお教え下さい。
3. 大阪府、大阪市にも建築部局だけでなく、他部局と話し合っており、熱帯木材使用削減していただくようお願いしたのですが、貴自治体では建築部局と他部との使用削減への会議をお持ちでしょうか。
4. 私達は、熱帯木材使用削減に向けては①出来るだけ新規工事を行わないこと、②型枠を使わず長持ちするPC工法や再生可能な森からの代替材を使うこと、③熱帯材使用時は転用回数を増やすこと等が、熱帯林保護になると考えていますが、貴自治体の方針の概略をご回答下さい。

1994年8月11日

ウータン・森と生活を考える会

た。今後、市営住宅の建て替えは三ヶ所で、約一〇万㎡の型枠使用量のうち七割を削減の予定です」と。

昨年夏の話し合いより堺市が進んで、モデル事業だけでなく市全体で削減しようという方向が素晴らしいと思う。

堺市の今後の取組みに期待したい。

〔高槻市：さらにモデル事業で削減〕

高槻市との話し合いは、地元グループも含め四名と長谷川建築課長ほか。

高槻市は芥川小学校、老人福祉センターに次いで九四年もモデル工事したものの、全体への取組みが欠けています。高槻市さん、もっと頑張ってください！

〔豊中：「基本計画」仕様書で削減〕

九月五日、落ち着いた岡町商店街のアーケイドをくぐって豊中市役所に行く。豊中市は寺田建築課長他が応対してくれた。

「合板を使用しているのはどこでもそうだが、豊中でも建築課が九割位か。九三年の合板総使用量三九百㎡のうち、一三―百㎡が複合合板や金属型枠で、三三%削減です。今後も削減します。」
 「何%削減するという目標を出してはいないが、発注時に使用材料の計画書を業者に出させている。計画書で業者ともっと削減など出来ないかとやりとりをしてるんです。これは『環境管理基本方針』で決め、また『特記仕様書』によって工法の検討をしているからです」と、寺田建築課長。

私達は、『基本計画』『特記仕様書』が豊中市にあって二年前から始まっていると聞き、心の中で拍手する。

「再開発事業の使用削減は：」との問いに、課長は「今後都市整備部とも話し合いをしてみましよう」と返事。さらに削減の期待できる豊中市だ。

〔門真：市営住宅も削減を検討中〕

十月四日、門真市と守口市と話合い。門真市は、谷口建築課長、木邨主幹、藤田企画室長などが応対してくれた。

建築課長は「市民文化会館の全型枠使用量六八〇〇㎡のうち八〇〇㎡を金属型枠で、業者に熱帯材削減してもらった。削減目標はまだまだやけど、今後も検討したい」と言われた。

私達が、市営住宅や再開発事業について質問したので、門真市は「来年工事の寿町市営住宅の型枠材七四〇㎡のうち、基礎部など一〇〇㎡を熱帯材削減を検討していきます」との嬉しい返事。続いて木邨主幹は「熱帯材の値が上がったらもっと削減できるのになあ！」と言われたので、一同が爆笑したんです。

〔守口：今後全面熱帯材削減の方向〕

守口市は、前川建築課長が応対してくれました。課長は

「シルバー人材センターは当初一〇〇%削減を目指したんですが、一部仮枠が複合合板になってしまいました。九

〇%がPC工法です。来年度発注の保健センターも同じような予定ですねや。

新規発注工事について、課独自の方向ですが、熱帯材を使わない方針です。九四年の市営住宅は規模が小さかったんで、ほとんど削減出来なかったけど、環境保全を考えて今後市の全課に働きかけてみます」との返答。すごい！

迷路みたいな守口市庁舎。昭和四三年に出来たという。コンクリート面には、くつきりと杉の型枠が今も残っていたのが印象的だ。コンクリート建築物を次々と造っていくため、熱帯材の型枠に変わってきたと、前川課長が教えてくれた。資料を見ると、確かにそう書いてある。それもあってフィリピン

の森も次々と消滅したんや。
 守口市を後にして、もっと大事に木が扱われていたらこんな熱帯林破壊が進んでなかったと思っただけ、私だけじゃなく事務局一同の考えやっただけでなく全国に拡がりつつある。頼り

けでなく全国に拡がりつつある。頼りにしてまっせ、他の府下の自治体さん。頼んまっせ、関西の自治体さん。

紙

ECOLOGY PAPER

『非木材紙を使おう!』

— エコロジーペーパー展を観て —

永田健一(ウータン)

10月中旬、大阪南船場にある平和紙業のギャラリーで「エコロジーペーパー展」があると新聞に載ったので行ってきた。数ある紙屋さんの中で、私が思う限りであるが多くの再生紙を出している平和紙業の紙はこの「ウータン」の表紙に使われています。

会場に入り、驚いたのはその種類の多さ。印刷実例の数々、そして非木材紙があったことでした。

以前より木材パルプ以外の紙があることは知っていたが、これほど多く開発されているとは思わなかった。

その種類と概要は次ページに載せておきますのでごらん下さい。

さて問題はこれらの紙がどれだけ使われているかですが係の方に聞いてみたところ、全需要の3割にも満たないとのことでした。(平和紙業だけ)ウータンで通信カビラを作っていて

よく聞かれることがあります。

「この紙は何ですか?」「どこに売っているんですか?」と、又ウータンに送られてくる他団体からの通信なども再生紙を使っていないものも多いように思えます。

と、えらそうに言ってますが、ウータンでさえ90年以前は上質紙を使っていました。エストの面とがありましたが熱帯林保護を訴えるグループが再生紙を使わなくてはならないということになり、「ガイアA」や「新利休(平和紙業)を表紙に、中紙に「ヤマカリ」(本州製紙)を使い始めました。しかしこの「ヤマカリ」を作っている本州製紙が「フアン」(ニューギニア)で問題を起こしたのでこの「ヤマカリ」は「グリーンランド」(日本製紙)という紙を使っています。詳しくはわかりませんが、再生紙であってモシゴとごまかすかひずみさせているかと思えます。しかし「バーズン」パルプを使った紙だけはさげたいと言っ



▲「エコロジーペーパー展」会場。10月17日～21日までペーパークオーストリア(南船場)会場には再生紙、非木材紙、シリアルペーパー50巻以上、布を利用された印刷実例が紹介されていた。

のガ正画がところどころです。

今号の紙は「フアン」という非木材紙とシリアルペーパーです。どうぞ手ごわり、色などを覚えて下さい。

以前とは違い、これらの紙の種類、色なども多く出てきました。通信なり冊子を作る方ももっと紙を知り使うべきだといいたいです。(見本帳をとってみて下さい。左ページ)

「紙のムダをなくし、使うなら非木材紙や再生紙を!」

非木材材紙とは？

この表は開発年度を表わし、現在製造販売されていますエコロジーペーパーガイドです。

再生紙			シリアルペーパー			非木材材紙		
~1990	1991~1992	1993~1994	~1990	1991~1992	1993~1994	~1990	1991~1992	1993~1994
新刊体 リサイクル率20% 四六判・Y目3巻量・5巻 2巻量・9巻 ●エコマーク商品 モダニ リサイクル率20% 四六判・Y目 3巻量・3巻 ●エコマーク商品 ガイA リサイクル率40% 四六判・Y目3巻量・2巻 資料・Y目1巻量・3巻 ●エコマーク商品 シヤレード リサイクル率40% S1:1巻2巻量・7巻 RE:1巻2巻量・6巻 GL:1巻2巻量・3巻 ●エコマーク商品 レポール リサイクル率55% 四六判・Y目3巻量・3巻 資料・Y目1巻量・3巻 ●エコマーク商品 TRP 83 リサイクル率83% 四六判・Y目3巻量・6巻 資料・Y目1巻量・6巻 ●エコマーク商品	新草木染・ハーブ リサイクル率50% 四六判・Y目3巻量・15巻 ●エコマーク商品 新パン紙 リサイクル率70% 四六判・Y目3巻量・5巻 ●エコマーク商品 ピオラ55 リサイクル率55% 四六判・Y目5巻量・2巻 ●エコマーク商品 ペリマ リサイクル率55% 四六判・Y目3巻量・6巻 ●エコマーク商品 GL-金銀 リサイクル率30% 四六判・Y目3巻量・1巻 ●エコマーク商品 ハッコレーDR リサイクル率40% 四六判・Y目2巻量・20巻 1巻量・1巻 ●エコマーク商品 ポルダ リサイクル率50% 四六判・Y目2巻量・7巻 ●エコマーク商品 ペインタス リサイクル率50% 1冊・1巻2巻量・2巻・5巻 ●エコマーク商品 カラマリアンR リサイクル率50% 1冊・1巻2巻量・10巻 ●エコマーク商品 サイセイ21 リサイクル率50% 四六判・Y目3巻量・21巻 ●エコマーク商品 クラークセント リサイクル率100% 四六判・Y目3巻量・1巻 資料・Y目1巻量・1巻 ●エコマーク商品 紀州の再生カネ リサイクル率40% 四六判・Y目3巻量・4巻 資料・Y目1巻量・4巻 ●エコマーク商品 Nインベリアル マツTR リサイクル率40% 四六判・Y目3巻量・1巻 資料・Y目1巻量・1巻 ●エコマーク商品	ワイルドウェーブ リサイクル率100% 747用紙 1000×600mm・1巻量・3巻 ●エコマーク商品 ジェントル リサイクル率35% 四六判・Y目3巻量・3冊 ●エコマーク商品 光彩 リサイクル率55% 四六判・Y目3巻量 資料・Y目1巻量 ●エコマーク商品	業務紙 リサイクル率30% 中判カネ浦 入量10% ●エコマーク商品 シリアルペーパー エコ比率100% (原カネ 輸入率50%・リサイクル率 20%・古紙混入率75%) 四六判・Y目1巻量・3巻 ●エコマーク商品 モルトペーパー リサイクル率 エコ比率25%~40% (原カネ10%) フスマ用紙 リサイクル率 エコ比率10% (原カネ10%)	コンケラレド・ ライディング エコ比率75% (コトシ 入量20%) 四六判・Y目4巻量・13 巻 ●エコマーク商品 グラン エコ比率75% (コトシ 入量20%) 四六判・Y目4巻量・2巻 ●エコマーク商品 ジェルバド-G エコ比率90% (ケナフ混入 率40%・古紙混入率50%) 四六判・Y目2巻量 ●非木材材紙マーク商品 カナディアン エコ比率40% (ケナフ混入 率10%・古紙混入率35%) 四六判・Y目4巻量・3巻 ●エコマーク商品 グラフィチネスト エコ比率70% (ケナフ混入 率10%・古紙混入率60%) 四六判・Y目4巻量・2巻 資料・Y目1巻量・2巻 ●非木材材紙マーク商品 ●エコマーク商品 バガス エコ比率85% (ケナフ混入 率50%・古紙混入率35%) 四六判・Y目3巻量・7巻 リーフ2巻量・Y目2巻量 のり2巻量・資料・Y目1巻 /1巻のり2巻量 ●リサイクルマーク商品 ●エコマーク商品 バガスバグ エコ比率90% (ケナフ混入 率20%・古紙混入率70%) ●リサイクルマーク商品 ●エコマーク商品 Gプラン エコ比率100% (ケナフ混 入率100%) 四六判・Y目 3巻量 ●非木材材紙マーク商品 ケナフセント エコ比率80% (ケナフ混入 率60%・古紙混入率20%) 四六判・Y目5巻量・6冊 ●非木材材紙マーク商品 デニム100 エコ比率100% (コトシ混 入率100%) 四六判・Y目 2巻量 アルガカルタ エコ比率65% (古紙混入率 15%・古紙混入率50%) 四六判・Y目5巻量・2巻 ハイブリットカルタ エコ比率100% (非木材 各混入率100%) 四六判・Y目6巻量 フェルトン エコ比率100% (ケナフ混 入率100%) 四六判・Y目3巻量・2巻				

※アンダーラインはウォーターンで使った紙です。

非木材材紙とは木材パルプ以外の資源から作られる紙のことで、あらゆる植物が原料となります。たとえば草のケナフや、サトウキビ、コットン、麻、菱わら、稲わら、トウモロコシ、海藻、茶カス、ビールカスなど、さまざまなものが利用され、さらに開発されています。これらは森林伐採やゴミ問題などの環境問題という面からも大いに注目されていますが、木材パルプ繊維に比べてその紙質が異なり、強度や肌合い、印刷適性などいろいろな面で独特な個性があり、木材パルプ紙とは異なるタイプの紙として注目を集めています。私たちはこれらを、美しい地球を守る紙「エコロジーペーパー」と名付け環境保全に役立てていきたいと思ひます。

ケナフ

ケナフとは成熟すれば下部の直径が3~5cm、半年で高さが3~4mにまで成長するアオイ科のハイビスカス属の植物で、広く東南アジアや中国、アフリカ、カリブ海沿岸、米国南部で栽培されています(イラスト参照)。その種類はキューバケナフとタイケナフがあり、驚くほどの成長の早さが環境保護に役立つとされ、いま、広く注目されている植物です。

■いまなぜ「ケナフ」なのか？

ケナフの特徴をいうと、栽培範囲が広く、短期間で多くの繊維収穫が可能なこと。キューバケナフの場合、120日~130日、タイケナフでは160日~180日で収穫ができ、木材資源なら約20年かかるころを半年で紙の資源として利用できます。またケナフは、炭酸ガスを多量に吸収するため(木のセルロース1tに対して1.3t)、二酸化炭素濃度の上昇による地球の温暖化現象の防止にも役立つと考えられています。

■紙資源としてのケナフ

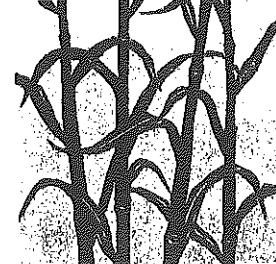
ケナフ繊維の形状は、韌皮部(表皮に近い部分)と木質部(芯に近い部分)では異なり、韌皮の繊維は針葉樹に似、全茎の繊維は広葉樹と同程度です。そのため、韌皮のクラフトパルプは強度があり、全茎のクラフトパルプは不透明度が高いなどの特徴があります。この結果、ケナフは紙に強度があり、風合いが良く、吸水性、吸油性、濾水性、通気性が良く、また音質も良いなどの特徴があり、ファンシーペーパー、証券用紙や小切手用紙、和紙、包装紙、濾紙、フィルター、ティッシュ、スピーカーコーン紙、また絶縁性が良いのでコンデンサーペーパーや絶縁紙など、さまざまな用途で用いられています。

バガス

バガスとはサトウキビから砂糖を搾った残りカスのうち、堅い部分を利用した農産物の残滓の有効利用で、木材資源に代わる非木材パルプです。バガスが注目されるのも製糖工場からの廃棄物の有効利用という点で、環境保全に大いに役立つこと。また、木材ほど高温、高圧で処理する必要がないのでこの面での環境への影響も小さいことなどがあります。バガスの特徴は風合いが良く、やさしい手触りなので名刺や便せん、ファンシーな味わいのある用途に向いていますが、繊維が短いためこれだけで紙を作ると強度に劣る面があるのも事実です。しかし用途に応じて木材パルプにバガスを混入することにより資源を保護することは、環境を考えるととても大切なことと思われます。



ケナフ



バガス

【お問い合わせ・見本リクエストはコチラへ】
 平和紙業株式会社 販売促進部
 〒06-262 1212 FAX 06-262 4323

('95.11.30 発行日)

「杉づくりの家」にこだわる

住まい手が実際に山林へ出かけ、使う木材を確かめて購入する。さらに、生産者の林業家と設計者の建築家、施工者の建築業者の三者がスクラムを組んで木造住宅づくりをしようにという珍しい試みが神戸、京都市内で始まった。

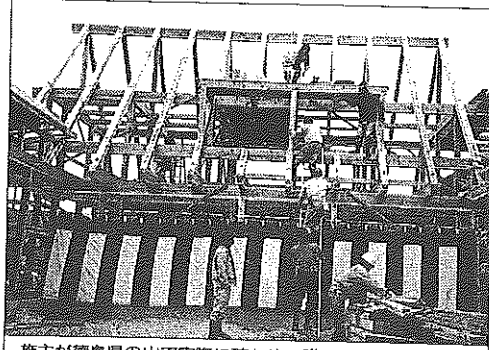
生産 設計 施工

三者スクラム



伐採され枝葉を付けたまま山の斜面で乾燥される杉の木ー徳島県海部郡海南町相川で

▼確かめて買い／建てる▼



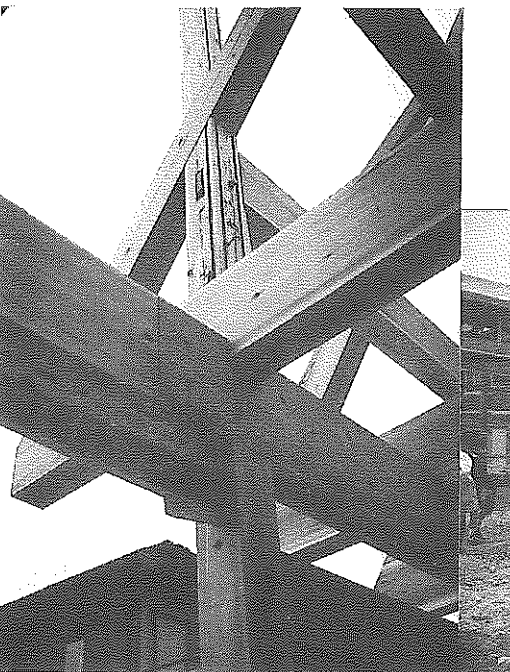
施主が徳島県の山で実際に確かめて購入した杉材を使って建築、このほど棟上げされた住宅＝神戸市西区で

国産材、とりわけの木で「家づくり」にこだわる大阪の建築家と徳島県の林業家のスクラムが手を結び、今夏に「徳島・木の家づくり協会」を結成した。協会の供給ネットワークは、生産者グループが徳島県林業クラブ青年部（一人、設計者グループが近畿圏の八里業事務所、施工グループが徳島県五社）で構成され、大阪府吹田市の三澤康彦・文字さん夫妻のM建築設計事務所が事務局を引き受けた。長い間、木の家づくりに取り組んできた三澤さん夫妻と徳島県林業クラブ青年部副理事長で、木材会社社長の和田善行さんが約十年前から積極的に行き交わってきた。同協会の名付けた「TSウッドハウス」（TSは徳島と杉の略）で建築が始まった。この家は神戸市西区で棟上げされた住宅は、会社員3人が注文した。約1200平方メートルの敷地に、二階建てで延べ床面積約百三十平方メートル。建築費は約四百四十万円。社員は今年春から三回、

つくり手見え安心 住む人 林業家 使い方見届けたい

近畿側五社で構成され、大阪府吹田市の三澤康彦・文字さん夫妻のM建築設計事務所が事務局を引き受けた。長い間、木の家づくりに取り組んできた三澤さん夫妻と徳島県林業クラブ青年部副理事長で、木材会社社長の和田善行さんが約十年前から積極的に行き交わってきた。同協会の名付けた「TSウッドハウス」（TSは徳島と杉の略）で建築が始まった。この家は神戸市西区で棟上げされた住宅は、会社員3人が注文した。約1200平方メートルの敷地に、二階建てで延べ床面積約百三十平方メートル。建築費は約四百四十万円。社員は今年春から三回、

徳島県海部郡海南町の山林へ購入する杉材を見に出かけ、六十年生の九十本を決めた。木材を決めたのは、建築費の約五百五十万円のうち、木を育てた人やつづてくれる木主さんとも話し、つくり手の顔が見えて安心できる。来年五月の発財が待ち遠しい」と期待する。家は梁（はり）も柱が見える真壁づくりのほか、ミニ手板を使わず、くきや留め金などの金属類の使用も出来るだけ少なくした日本家屋。このほどあった棟上げは徳島から訪れた林業クラブの和田さんは「丹精込めて育てた杉がどのように使われるのか、最後まで見届けて責任を持ちたい」と話していた。同協会の工法の大きな特徴は、短時間で乾燥させた杉ではなく、伐採した木に枝葉を付けたまま、山の斜面に二三方片開放置して乾燥させて加工する「葉枯らし材」を使うこと。これと木の肌の色かせるという。さらに、徳島



徳島・木の家づくり協会
TSウッドハウス

- 徳島産の杉(葉枯らし材)を使った家です
- 2段階(リレー方式)の施工体制をとっています
- 徳島県 県産木造住宅供給システム整備事業の一環です

3000日の徳島特約

TEL 0878-22-1111 FAX 0878-22-1111

・前号で紹介した三澤さん(建築家)の設計された家の棟上げを11月16日に見てきました。仕口(木の組み方)も在来工法をもちいた家でいい感じ 気に入りました。木を長持させ、在来の素材を生かすなど 今の建築ノーターンを見直す一つの良いパターンだと思います。

連載

熱帯林を考える

徳島熱帯林問題研究会会長 猪俣栄一



7 樹種ごとの主産地と用途



3月発行の第31号に掲載したこの連載の予定では、32号に「地域ごと、林型ごとの主な樹種と用途」を書くことになっておりましたが、実際には用途まで書けませんでした。

これは、私の息子の2回めの心臓手術がうまくいかず、約半月程意識不明の危篤状態が続いて、その間ずっと病院のICU控室で過ごしており、何の参考文献もないまま、控室のソファで週刊誌を下敷きに、記憶だけを頼りに雑用紙に書きつけたので、あのような中途半端なものになってしまったのです。スンマヘン。

という言い訳に始まって、今回は主要樹種の用途について書きます。ただし最近、ポルネオのセラヤ、メランティ類を主とするフタバガキ科の資源が激減し、パプア材やソロモン材が主流となつてき

ていますので、樹種毎の用途というものが、必ずしも以前のように限定されなくなつて、苦し紛れに何でも使うという時代になってきております。また、上質ラワン材については、既に過去の幻になっている感もあります。

それでも、南洋材の用途を知ることとは、極めて重要な意味を持っております。何故かという、現在の熱帯林保護活動の方向は「熱帯材の使用削減」が中心ですが、その実現に向けての重要な方法論に、「国産材使用」というのがあります。

一体これは可能なのでしょうか。本当に、国産材を使うことで南洋材の使用が削減できるのでしょうか。この問題を検討するためには、先ず南洋材の用途を知らなければ話になりません。そしてその

次に国産材の使われ方をよく知って、その上ではじめて、この運動方針が正しいかどうかが自分の頭で判るのです。

よく、国産材林業者から「昔は南洋材なんか入って来なかったのだから、それを思えば木材需要は全て国産材で代替できる」という言い分を聞きます。しかしこれは明らかに2つの点で誤りがあります。

ひとつは、パルプ、チップを含めて現在の年間需要は一億立方近くになっていて、国産材ではまかなえないこと、もうひとつは、木材需要のニーズが多様化していて、スギ、ヒノキの造林木ではカバーできないということです。

現に、戦前にはどこの家にもカランタスやブビンガの天板の立派な座卓なんかありませんでした。アフリカンローズウッドやマホガニーの突板をはりめぐらした応接室も稀だったでしょう。木材に対する国民のニーズが変わってきているのです。

その辺を考えるためにも、この号が参考になれば幸いです。

特 性	用 途
軽軟、強靱でない。仕上がり面はけば立つ。	箱材、指物等、耐久性や強さが要求されないもの。
軽軟～中位、芯材は黒～赤系の濃色。仕上がりは良好。	仕上がり面が綺麗で、材面の色、模様が美しく、木工品、家具、内装材、内装用スライスドベニアとして多様される。(特にフィリピンでは)日本でもクルミ材の代用品として使われる。
芯材は赤色。時間がたてば暗赤色となる。濃い縞模様あり。重硬。工作に使ってかぶれることがある。	仕上がり面は色、木目とも美しく、高級家具材、キャネット、突板に利用される。なお同科のGulta 属の他、数属の材がレンガスと呼ばれている。
重硬だが耐久性に欠ける。工作し易い。時に軽い種もある。	室内軽構造材、仕上材、梱包材、合板用、農器具材、スポーツ用品材他。
軽軟。強度低い。主として50～70cmの中径木材で成長が早い。材にラテックストレイス(乳跡)があるのが難点。	天井裏材、楽器、模型、黒板、彫刻材料、箱用材、マッチ、合板等。比重の重いものは床用材、枕木等。
軽軟で、材色は白～白黄色。耐久性、強度はなく、また乳跡もあるが、白いのが日本人に好まれる。	耐久性や強度を必要としないところに多様されほぼプライと同様に使われる。キョウチクトウ科の代表的南洋植物種。また樹皮を傷つけて採れるラテックスから良質のチューインガムが作られることで有名。
数少ない熱帯産の針葉樹材。工作容易、仕上がり良好、釘割れに強い。日本のスギに比べ、年輪不明瞭。強度、耐久性は低い。軽軟。	工作容易なので、建築材、造作材、家具、木工指物、合板材からマッチ用まで用途は極めて広い。フィリピンのアルマンガは大径材となる。フィリピン産から採れる樹脂はマニラコパールと呼ばれる塗装原料として前世紀から有名。ニュージーランド産から採れるのはカウリコパールと呼ばれる。
市場ではパインと呼ばれるが、マツ科ではない。アガチスに比べ、桃色～紫色かかった灰褐色。軽軟で殆どアガチスと同様の特性。	アガチスに較べてカビが生えやすい難点があるが、ほぼアガチス同様に使われている。
熱帯性落葉高木。極めて軽軟。耐久性なし。強度なし。	種子を含む繊維でカボック綿が作られる。布団、救命胴衣、クッション等に使われる。材も模型、カヌー等。

Swk=サラワク、PNG=パプア・ニューギニア、Slm=ソロモン。ただ、これらは国名またはサラワクを含み、ボルネオ、スマトラ、マラヤとカナ書きした場合は国別ではなく、

樹種ごとの主産地と用途

市場名又は樹種名	科名	主産地	資源量
テレンタン	ウルシ	マラヤ、ボルネオ、スマトラ、ニューギニア	中
ダオ (フィリピン) センクァン (Sab, Inn, Swk, Mly)	ウルシ	マラヤ、ボルネオ、スマトラ、フィリピン、ニューギニア、(ニューギニアウォールナット) ソロモン	中
レンガス	ウルシ	マラヤ、サバ、サラワク、インドネシア、インドシナ、PNG、ソロモン	多
メンピサン (数属の総称)	バンレイシ	インド、フィリピン、インドネシア、マラヤ、サバ、サラワク	小〜中
プライ ミルキーパイン (PNG) アルストニア (SI m)	キョウチクトウ	アフリカ、インド、ビルマ、インドシナ、フィリピン、ボルネオ、ニューギニア、太平洋地域	中
ジェルトン	キョウチクトウ	マラヤ、スマトラ、ボルネオ湿地種 (スワンプ) と山地種 (ヒル) がある。	中〜多
アガチス (Inn, Sal, Swk) アルマシガ (Ph) カウリ (PNG, SI m)	ナンヨウスギ	ニュージーランド、フィリピン、インドネシア、マレーシア、インドシナ、ニューカレドニア、ニューギニア、オーストラリア	多
クリンキーパイン	ナンヨウスギ	ニューギニア、オーストラリア、ニューカレドニア、ブラジル	中〜多
シルク コットン カボック	パンヤ	東南アジア一帯に自生。世界中の熱帯で植栽される。	多

〔参考〕地名略語、Ph=フィリピン、Inn=インドネシア、Mly=マレーシア、Sab=サバ、独立地名として使っているが、他にマレーシア全域という時は、半島にサバ・その地域を指す。主産地と分布は必ずしも厳密に分けていない。

特 性	用 途
<p>熱帯産で最も有名な果物。数種類を総称してドリアンと呼ぶ。軽いものから重硬なものまであり、芯材は濃桃色～赤～金茶色で美しいが、キクイムシ等が多いのが難点。沈木。</p>	<p>乾燥後の色調が重厚な美しさを持つので、装飾内装材、内装用つき板、合板等に使われるが、マメ科のもの程の光沢や美しさはない。小径木が多く、大径木が少ない。</p>
<p>サラワクでバジャンと呼ばれる重硬なもの、その他の地域でペルポックと呼ばれる軽軟なものに分かれる。</p>	<p>パネル、家具、床板、定規、窓枠の他、メランティ同様に合板として使われるが、小径木が入荷の中心なので、合板に適しているかどうか判らない。</p>
<p>産地が多く変種も多いので一概には言えぬが、黄色～薄クリーム色まであり、美しい柁を持つものもある。日本ではレッド、レッドブラウン、イエローの3種に区別される。大方が軽軟だが重硬材は加工困難。</p>	<p>家具用材、キャビネット、強度の要求されない構造材、農具の柄、普通合板やコンパネの中子板等、用途は広い。美しい柁のものは高級家具や装飾材として用いられる。</p>
<p>重硬で、芯材は暗赤褐色～紫色。装飾材や家具用材によいが、ワレ、釘割れがあるので重要視されない。</p>	<p>たるき、窓枠、はばき等の造作材や一部内装材に使われるが、PNG、ソロモンからまとまって入荷するので、クルイン、カポールの代用として合板に使われている。</p>
<p>フタバガキ科の中では硬い方で、装材では鋸齒を要する必要がある。色は褐色、桃色。人工栽培例あり (Ph)</p>	<p>軽構造材、天井、床、階段板等の造作材、合板、装飾合板の表板 (縞目のあるもの)、内装材、実用家具、ドア等の窓枠材。</p>
<p>カポールと共に重く硬い部類に属し、産地によって多少異なるが、原木はほとんど沈木扱いとなる。案外害虫に弱い。</p>	<p>カポールと共に代表的な合板中子板材。比国産のアピトンはトラックボディとして多様されていた。防腐、防虫処理のうえ、橋梁材や農業用ハウス構造材に使われている。</p>
<p>クルインよりは軽く、フローター扱いとなる。種によって芳香を持つものあり。</p>	<p>内部建築用材、軽構造材、車両ボディ、一般用合板材その他用途は広い。</p>

ものがある。しかしこの連載は分類学講座ではなく、また専門的内容を目的としていない

樹種ごとの主産地と用途

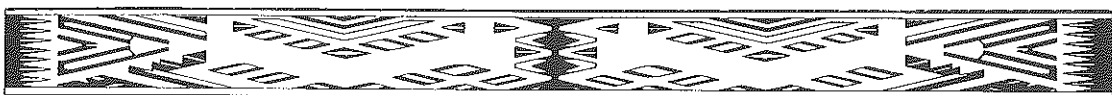
市場名又は樹種名	科名	主産地	資源量
ドリアン (Mly, Swk, Sab, Inn)	パンヤ	Mly, Inn, Ph. 等であるが、主にボルネオ島。低地。湿地に多い。	少
ベルボック	ニシキギ	インド、ビルマからニューギニアまで東南アジアの島々に分布。特にボルネオ西部の泥炭地、東部の低湿地、河岸等に多い。	中～多 (小径木)
ターミナリア	シクンシ	熱帯アジアに広く分布。主産地はPNG、ソロモンで、他地域からの入荷はほとんどない。海岸付近の湿地に生える。	中～多
ディレニア カトモン (Ph)	ビワモドキ	マダガスカルから東南アジア一帯に分布。主産地はニューギニア、ソロモン。	中
パロサピス (Ph) メルサワ (Inn, Sab) ※1	フタバガキ (アニソプテラ属)	ビルマから東南アジア一帯、ニューギニア、ルイシェード諸島まで分布。主産地はインドネシア、PNG、サラワク。	中
アピトン (Ph) クルイン (マレーシア 全域、スマトラ、カリ マンタン、ジャワ)	フタバガキ科 (ディラテロカル プス種) ※2	インドからビルマ、タイを経てウオーレス線以西の東南アジア島諸部に分布。主産地はスマトラ、ボルネオ、フィリピン	多
カポール カプール ※3	フタバガキ科 (ドリオパラノプ ス属)	マレー半島、スマトラ、ボルネオ全域 (産地によって種がかなり異なる)	多

(※1～※3) 市場名や樹種名には、国、地域によってかなり混同や重複、不正確なので、かなり包括的な表現をとっている。

特 性	用 途
フィリピンの白系やサバのホワイトと、ネシアの白メランでは、価格がかかなり違うほど、木材の特性が異なる。	構造用合板、コンパネ用合板、造作材、家具類、木工品として多用されてきた。構造材以外、ほとんどの用途で使われている。
ホワイト系、イエロー系に比し、やや硬く、材色は桃色がかったものもあり、産地名を冠して〇〇マホガニーと呼ばれるものもある。	耐久性、耐虫害性、強度が要求されない全ての用途（軽構造材、造作材、内装材、家具木工、各種合板、ベニア）に多用されてきた、代表的南洋材。
レッド、ホワイトに較べると虫害に弱いのと色合いが好まれず、評価は低い。	色合いが好まれないことから、合板中子板として多用されてきたが、家具裏材等にも使われる。
概ねその樹種も耐久性や耐湿性が高く、強度も大きい。加工が困難なものもあり、伐採地で切り残されたりするものもある。	重硬なので、他のラワン材とは用途が異なる。家具、車両用、橋梁用、船舶用、建築用（梁用材）、フローアー、枕木等。

製材業界、問屋筋で使われている程度の分類とグループ仕分けとした。

これからは、ニューギニアやソロモン材といった、新南洋材が中心になる状況なので、形で載せます。掲載ご希望の方は、お便りなどで事務局までリクエストしてください。



樹種ごとの主産地と用途

市場名又は樹種名	科名	主産地	資源量
ホワイトメランティ類、 イエローラワン、マン ガシオ(Ph) ホワイトセ ラヤ、メラピ類(Sab) メランチプチ(Inn. Swk)	フタバガキ科 (シヨレア属) ※4	フィリピン、サバ、サラワク、インド ネシア(スマトラ、ボルネオ)他の分 類に属するものが、地域によって白系 として取引されることあり。主として 多雨林産。	多
レッドメランティ類、 レッドラワン、ホワイト トラワン、タンギール、 ヤマピス、アルモン (Ph)、レッド又はダー クレッドセラヤ(Sab) 同メランチ(Swk. Inn)	同上	フィリピン、マレーシア、インドネシ ア	多
イエローメランティ類、 カランチ(Ph)ダマール 類(Mly. Swk. Inn) セラ ヤクニン(Sab) イエロ ーメランチ(Sab. Inn)	同上	マレーシア、インドネシア、フィリピ ン(1種)	少
重たく硬いシヨレア類、 ヤカール、ギホー(Ph) センガワン(Swk) セラ ンガンバツ(Sab. Swk. Inn)バンキライ(Inn)	同上	フィリピン、マレーシア、インドネシ ア(カリマンタン、イリヤン)	中

〔※4〕シヨレア属だけでも数百種あり、この分類は植物学的ではないが、概ね合板業界、

〔後記〕樹主別の用途はページ数の制限から、ごく一部しか掲載できませんでした。
そういう樹種についても解説してほしいという要望が強ければ、次号に続編の

猪俣さんの連載も含めて、『ウータン・森の通信』に対する・感想・ご意見・ご希望
こんなことをしたら？というアイデア・その他いろいろお聞かせください。
あるいは、投稿なども歓迎します。「森」に関するお勧めの場所、森への接し方、
旅行をした時に見た森の姿、良書案内。ウータンの催しに参加された時の感想なども
お寄せください。おたより、待ってます！



ロングハウスの子どもたち

関西セミナー・ハウス 荒川 共生

どこのロングハウスに行っても、印象深くいつまでも心に残るのが、子どもたちの笑顔と彼らの美しい瞳である。ここではイバンのロングハウスの子どもたちについて報告しようと思う。

◆小学校にて◆

ロングハウスの子どもたちは、二つのタイプに分けることが出来る。学校に行ってる子どもたちと、働いている子どもたちである。ロングハウスに小学校がある訳ではないので、子どもたちは近くの町か、その地域にある小学校へ通う。学校がロングハウスの近くにある場合は毎日通学をするが、簡単に通学出来ない場合、小学校の寮に入らなければならない。彼らは週末になると自分のロングハウスに帰り、月曜日には再び学校へ戻る。

私は、シブと言う町から東へ70kmのところを流れるパリンギアン川の中流域にある小さな小学校を訪ねた。この学校は、パリンギアン川の中・上流域のロングハウスの為に建てられたもので、町からも遠い。そのため教師も寮生

活である。7人いる教師のうち、6人がマレー人で、1人がイバン人であった。生徒数は約200名で、すべてイバン人である。マレーシア政府はプミプトラと呼ばれるマレー人優先政策を行っており、学校ではすべてマレー語で授業が行われている。そのためこの小学校でも、生徒がすべてイバン人であるにもかかわらず、授業はすべてマレー語で行われている。しかし、プミプトラ政策では、あまりにもマレー語の方に力を入れ過ぎたために、政策実施後の教育を受けた人は、英語がしゃべれないという事態を招いてしまった。私の訪ねたロングハウスでも、英語よりマレー語の方が得意だという人の方が多かった。

小学校の授業は朝7時に始まり、午前中で終わるのだが、私が訪ねた日は、月に何度かあるという青空教室が一年生のクラスで午後から行われていた。この青空教室の目的は、狭い教室を出て新鮮な空気の中で歌をうたったり体を動かしたりして気分転換をするというものである。この日は、校庭の片すみにあるバラソルのように枝を広げ涼しそうな日影を作り出している木の下で、20名位の一年生が輪になり、歌をうたっていた。

ここで知り合った2人の教師は、まだ教師になりたての青年で、2年間をここで過ごした後、

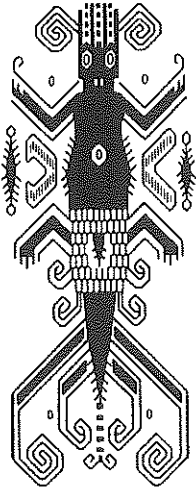
町の学校に転勤になると言う。2人ともマレー人である。日本の音楽や女性、物価の違い、学校のシステムの違い、などに大変興味をもち、お互いにカタコトの英語で話し合った。こちらでは、日本の五輪真弓や谷村新司、山口百江などがよく知られており、彼らの海賊版カセットテープがよく売られている。女性の話題は万国共通で、男性の友人が出来る必ず話題のぼる。物価の違いについて話をすると、その大きな格差にみんな飛び上がって驚く。なんせ、日本でコーヒー一杯飲むのと同じ値段でこちらでは一日分の食費となってしまうのだから。

3時頃になって生徒がかまやほうきを持って出て来た。日本で言うお掃除の時間だ。週に3日、時間を設けて学校の設備や周辺をきれいにするのだ。校庭では一年生が自分の腕よりも長いナタを振り回して草刈りをしている。女の子がひとかたまりとなつてしゃべりながらナタを振り回している。危なっかしくて見ているほうがハラハラする。作業をしているよりはしゃべっているほうが多いのは日本もこのも同じである。小さな子どもが大きな刃物を上手に振り回しているのに驚いていると、若い教師がその理由を教えてくれた。この子どもたちはロングハウスに帰れば重要な労働力となるため、普段からナタなどの農具をつかえるようにしておかなければならないのである。

◆学校に行かない 子どもたち

一方、学校へ行かない子どもたちはどうしているかというと、毎日遊んで暮らしているわけではない。それぞれその年令に応じて仕事をしている。生まれて初めて任される仕事は、自分の弟や妹の面倒を見ることである。昼間両親が仕事に出ている間、幼い子どもの世話をするのである。子守は楽なようではなかなか大変だ。2、3才の子どもは好奇心旺盛で、あちらこちらと歩き回るので片時も目が離せないの、子守は子どもに一日中付きっきりの仕事になってしまふ。子守以外の仕事では、まきはこび、水汲み、などがあり、大きくなると、畑仕事や魚取りに出掛けたりするようになる。

彼らの学校に行かない理由は様々である。学校教育より労働の方が重要と考える親は多く、そうした親をもつ子どもは学校に行かないことが多いし、行ったとしても卒業するまで在学することは少ない。



イバンの動物文様

◆子どもとなかよく

私のたずねたロングハウスは英語の話せる人がいなかったの、思うようにコミニケーションができず、溶け込むのに苦労した。また周囲の目がとても気になったし、彼らも何かと好奇心の目をもって私を観察していた。そこでコミニケーションを図るのに私が最初にしたことは、子どもとなかよくすることであった。子どもとのコミニケーションには言葉は必要ない。そこで子どもたちを喜ばせることに全力をあげた。まず彼らに私の名前を覚えさせる。これが成功すれば後はやりやすい。次に2、3人の元気な子を選んで名前を覚え、会うたびに大声でその子の名前を呼ぶ。名前を呼ばれるのは嬉しいことである。また、子どもは好奇心が強いので、カメラなどの小道具を使うと効果的である。興味をもって集まって来たところを、とっつかまえて抱きかかえ、振り回したりすると彼らは喜んで飛び付いて来るようになる。特に男の子は慣れるのが早い。

子どもを味方に付けると心強い。子どもと一緒に遊んでいると大人のほうも私に声をかけ易くなるのか、少しずつ話し掛けて来るようになった。そこで、折り紙やコマなどを出して来ると大人のほうも興味を持ち出して来て集まってくる。こうして彼らと何とかコミニケーションを図るのである。

◆自分の壁

子どもたちはとても好奇心が強く純粹で、大人の持っている「偏見」や「プライド」「羞恥心」などの「壁」がない。大人はいつの間にかいろいろな「壁」を自分の周りに作ってしまつて、人とうまく付き合っていけなくなつてしまふ。ロングハウスの子どもたちと遊んでいると、自分の持っている壁の多さを痛切に感じてしまふ。彼らと私との間には言葉は要らない。年齢も関係ない。国籍や、文化、宗教なども関係ない。大切なのは自分のもっている「壁」をどこまで取り除けるかである。学校教育における異文化理解教育や国際理解教育が最近になって重視されて来たが、ロングハウスの子どもたちを見ていると、そういった教育は子どもたちに果たして必要なのだろうかと言ふ疑問がわいて来る。そうした教育が本当に必要とされているのはわれわれ大人なのではないだろうか。

熱帯林消失や、オゾンホール拡大、酸性雨などの地球規模の問題を解決している上で大切なのは、民族を越えて、いかにして様々な人と「共に生きていくか」ではないだろうか。そのためのヒントを、ロングハウスの子どもたちに教えてもらった気がする。



「会費とおたより」

ありがとうございます！

「環境と人権は不可分」みたいなことがよくやく実感できるようになってきたので、入会します。アムネステイもどうかよろしく。そうそう、オリエンテリング暦（正味）7年です。迷って森の中でポーツとするのがわりと好きです。

松波めぐみ

：ウータンお送りくださつてありがとうございます。みなさんのご活躍で「みどり」の大切さを考える人がふえているようでうれしく思います。同封のもの些少ながらカンパします。

中西靖忠

Tシャツ代250000×8

＝20,000振り込みます。

向井千晃

*いつも販売に協力いただきありがとうございます！

いつもウータンありがとうございます。大阪の熱気が伝わります。「うんうん」とうなずきながら拝見しております。こちらマイペースでやっています。なんとなくやっているのですが、なん

となくみなさんに支えられているというか。(後略)

「にっぽんこどものじゃんぐる」

福永一美

会費（といっても幽レ会員で恥ずかしい限りですが）まだのような気がします。いつもイキな表紙と濃い中味、ご苦労さまです。

畑健次郎

伊丹市の今後の動きチェックしてゆくつもりです。

麦島きみこ

*力強いお言葉に感動！

「ウータン」いつも楽しみにしています。この前のイベントには行けず、申し訳ないです。Tシャツは売れたかどうか心配ですが、ポチポチ機会があれば売ってください。(後略)

石丸千里

*ステキなデザインが好評です。

ありがとうございます。

「このほかに会費・カンパをいただいた方。(敬称略)」

上月泰司様

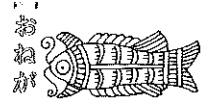
久保康子 佐藤正行 嶋岡てるみ

田中亚子 永田健一 畑健次郎

馬場清 日南都世子 樋野道子

松波めぐみ 湊香代子 吉田隆

♪心には太陽を、



くちびるには歌を、

*新年度の会費をよろしくお願いいたします。年間三千元です。熱帯林を守るために、もう一年、力を貸して

いただけないでしょうか？

カンパも大歓迎です。

いろいろな物入りでなにかと大変な

時節だと存じますが、私たちの活動を支えてくだされば幸いです。

(同封の振込用紙をご利用ください)

*裏返し封筒をいただけば楽々か？

会報の発送用にできるだけ再利用封筒を使いたいと思ひ、作業の合間に作っています。数がたりません。

(一度に五百部発送します)

のりしろをそつとはがし、裏

返してのりづけすればできあがり。

少し大きめの、「ウータン」が三

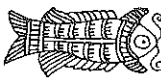
つ折りて入る封筒が最適です。

厚かましいのですが、たまったら

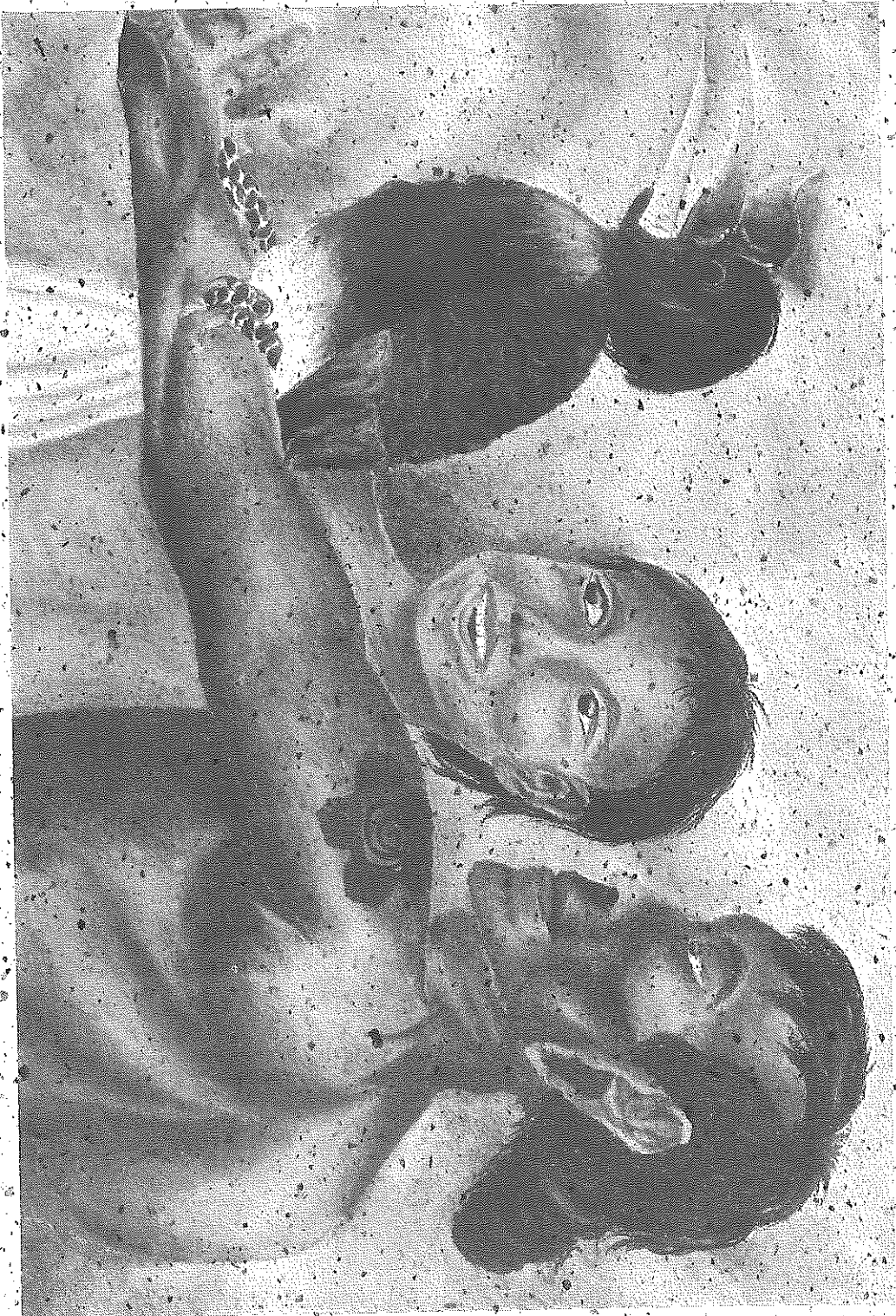
事務所にお送りくださるか、お近くの

スタッフにお渡しください。

ウータンには



栄養 (会費) を



「私のポート」 Carolyn Ho Ching Ching (12才・女)

●この絵はマリアナ・クワンに付き先住民の女の子を描いたもので、今年10月には、権威ある「セントルイス・フェスティバル」で、みかやが「マリアナ」の画伯コンラート・実行委員に所属しているお得意様です。今、その作品集が、A4判カラー32P、1部1000円（送料別）で、実行委員に販売されています。詳しくは、〒660 尼崎市長町55-27、YCM中華文化センター事務局の会、Tel. 06-444-0587まで。

